

# 日商簿記 1 級&全経上級ダウンロード講座 商会 No.13【新株予約権付社債】

収録日：平成 25 年 8 月 24 日

## 【出題実績】

日商簿記 1 級過去問 131 回会計学  
全経簿記上級過去問

	検定簿記講義(商簿)	サク	スッキリ	教科書
ページ数	4	19	11	
転換型 (一括法)	×	◎	◎	
転換型 (区分法)	×	◎	◎	
その他 (区分法)	△	◎	◎	

◎説明あり、例題あり ○説明あり、例題弱い、△説明弱い、例題あり、×説明弱い、例題弱い  
〔弱い〕は〔ない〕を含みます)

試験には出ていませんでしたが、131 回で 10 点分の出題がなされました。

このパターンは、「今後は商業簿記では出題するよ」という意思表示だと思います。

基本的な考え方のみレジュメで確認したら、お持ちのテキストで確認し、過去問にチャレンジして下さい。

## 新株予約権付社債

私は証券会社で働いたことがないので細かい事はわかりません。

でもストーリーは、こんな感じだそうです。(私の学習時代の講師の受け売りです)

「奥さん、いい金融商品あるよ！！元本保証のCMCの社債・・・さらにCMCの株が上がったら儲かるよ。ローリスク・ハイリターン。買わない」

本当に、こんな商品あるのでしょうか。

「**転換社債型**・・・」や「**その他の**・・・」はあまり気にしないでください。

「**転換社債型**」は、**社債で権利行使**しかできない。

「**その他の**」は、**社債（代用払込という）でも現金でも、どちらでも支払える**

こんな感じです。

そして処理は**一括法**か**区分法**だけ。

決算は3月末日である。

期首に5年満期の社債 100,000 円を発行した。クーポン利息は年 1,000 円（3月末に支払）。5,000 円分の新株予約権がついている。

期末に 30%の新株予約権が行使された。

資本金の額：会社法の原則規定

（なお当社は社債の償却原価計算は定額法によっている）

<一括法をみてみましょう>これは簡単。ちなみに**一括法は転換社債型のみ**

一括法→「ローリスク社債部分」+「ミドルリスク新株予約権部分」を一括で仕訳  
(という事は平価発行)

新株予約権の権利が行使されたら、**社債が株に転換**される仕訳をするだけです

(期首) 現金 100,000 / 社債 100,000

(期末) 社債 30,000 / 資本金 30,000 (負債が純資産に転換された訳です)

### 転換社債にのみ一括法が認められる理由

①新株予約権の行使によって社債の権利が消滅するため両者は個別に存在する事はないから

②新株予約権のみ切放して売買できないからである。

## <区分法>

新株予約権の金額を引いて社債を計上（したがって割引発行扱い）∴償却原価必要

社債の処理は、償却原価計算やクーポン利息の処理をしましょう

権利行使時は「行使分の帳簿価格を修正（償却原価法）」して、社債を株に交換します。

もちろん行使分の新株予約権は消さないといけません。

ちなみに未行使分の社債の帳簿価額まで修正しないでください

ちなみに現預金で払い込みを受けた時（代用払込）の仕訳は、社債との交換ではないので、償却原価は行いません。

（期首）現金 100,000 社債 95,000  
新株予約権 5,000

（期末）社債利息 1,000／現金 1,000  
社債利息 1,000／社債 1,000

社債 28,800／資本金 30,300  
新株予約権 1,500

現金で払い込みを受けた場合は

現金 28,800／資本金 30,300  
新株予約権 1,500

なお、試験では行使価額は下記のように記されます

### ①転換社債型

権利行使時の出資財産：新株予約権が付された社債

### ②その他の新株予約権付き社債

行使価額：1株に付\*\*\*\*円

ダウンロード講座では、日商簿記1級131回会計学の説明をします（20分でチャレンジしてみてください）